

年 組 名前:

県内で発生した飲酒運転による交通事故は昨年、144件となり、前年の169件よりも25件減少した。ただ、飲酒運転の疑いで摘発されたのは213人（前年比45人減）、逮捕者は71人（同23人減）に上り、飲酒運転の根絶はまだまだ課題となっている。

今年6月には千葉県八街市の市道で、飲酒運転のトラックが小学生の列に突っ込み、5人が死傷する事故が発生。県警交通企画課の担当者は「飲酒運転による事故は、飲酒がない事故と比べて約8倍も死亡事故になりやすいという統計もある」と指摘。「少量のアルコールを摂取しただけで、安全運転に必要な心身機能が低下して適切な運転操作ができなくなったり、他者

## 飲酒運転 しない・させない 死亡事故の危険性は8倍

や信号機などを見落としたりして交通事故を起こしやすくなる」と説明する。

道交法では、酒酔い運転が最高で懲役5年、罰金100万円、酒気帯び運転が最高で懲役3年、罰金50万円を科すと規定。運転手が酒酔い運転で摘発された場合、車両提供をした人は最高懲役5年、罰金100万円、酒類提供や同乗した人は懲役3年、罰金50万円となる。

課の担当者は「飲酒運転をする運転手に車両を提供したり、運転することが分かっているのにお酒を飲ませたりする行為のほか、飲酒運転する車に同乗することも処罰の対象になる」と強調。「飲酒運転は重罪になる。県民が一丸となって飲酒運転の撲滅に取り組んでもらいたい」と話している。

県警は秋の全国交通安全運動期間中、「飲酒運転をしない・させない」という規範意識の確立や、業務に使用する自動車の運転者に対する指導の徹底、自動車複数人と飲食店などに行く場合はお酒を飲まない人を決める「ハンドルキーパー運動」の促進などを行う。

(2021年9月20日付 山梨日日新聞9面)

問1 山梨県内で昨年発生した飲酒運転による交通事故は ①件 で、飲酒運転の疑いで摘発されたのは

②人、逮捕者は ③人 に上りました。①～③に入る数字は何ですか。

①「 件」      ②「 人」      ③「 人」

問2 飲酒運転による事故は、飲酒がない事故と比べて約8倍も死亡事故になりやすいという統計も

あります。飲酒運転が危険な理由を2つ書いてください。

.....

.....

問3 飲酒運転事故の防止策の一つとして、「飲酒した人が絶対運転できない車があればいい」という

指摘もあります。あなたなら、どんな車を開発するか、アイデアを出してください。

.....

.....